

第64回上智大学・南山大学総合対抗運動競技大会

34年ぶりの両大学総合優勝で閉幕

第64回上智大学・南山大学総合対抗運動競技大会(上南戦)が、上智大学を主会場として7月7日から9日にかけて開催された。上南戦は、1960年の第1回大会以来、毎年開催されている伝統のスポーツ対抗戦。両大学で1年ごとに会場を入れ替えて実施している。コロナ禍の影響で、第61回大会、第62回大会が中止となったこともあり、大会初日は開会式が行われ、校歌斉唱や応援団によるエール交換などでオープニングを盛り上げた。この日は、ハンドボールの試合を実施。前哨戦を合わせた成績は3勝無敗で本学が好調な滑り出しを切った。

2日目は9勝12敗と南山大学が追い上げ、最終日は4勝4敗と両者譲ら



ず、総合成績16勝16敗で34年ぶりに上智・南山両大学の総合優勝という結果を挙げた。各試合の結果は上南戦ウェブサイトに掲載されている。<https://johnan-the-das.sic.com/>

また、昨年に続き同日

開会式でエールを送る応援団

ハンドボール部は初戦を制し勢いづけた

女子バレーボール部はスリート勝ちを収めた

鋭いまなざしで標的を狙う洋弓部

さらに、9号館アクテ

大会後には、上南戦での活躍を称え、学長賞と特別賞が発表された。受賞団体が発表された。受賞理由は次のとおり。

上南戦学長賞
ハンドボール部：オープニングゲームでの圧勝により上智大学に勢いをつけ、大会を大いに盛り上げた。

男子バレーボール部：フルセットまでもつれる接戦のなか、負傷者が出る

る逆境にも負けず粘り強く勝利した。

▼弓道部：大会の最終盤 両大学総合優勝に導いた。応援団：猛暑に負けず大会を盛り上げた。

精神的に各部を応援し、各レモニーにおいても大会を盛り上げた。

「精力的に各部を応援し、各レモニーにおいても大会を盛り上げた。」という素敵なイベントになったと感じます。最近は手書きをする機会が減っていき

すが、手書きならではの味わいや温かみを改めて感じてもらえたら嬉しいですね。今後は毛筆作品に限らず、硬筆作品をつくるイベントも実現したいです」と3日間を振り返った。

留学生が暑中見舞いに挑戦

7月4日から6日の3日間、SSIC(Sophia Student Integration Commons)では書道部の協力のもと、毛筆で書いた暑中見舞いを、海外の家族や友人に送るイベント「暑中見舞いを書こう」を開催した。留学生や日本人学生など、3日間で延べ63人が参加した。

SSICは主に留学生と日本人学生が、異なる文化や多様な価値観を知る機会を作るために「新



楽しみなながら下書き練習

書道部部長の井ノ口愛子さん(文新3)は、「送る相手のことを想いながら丁寧に書く学生が多く『暑中見舞いを大切に

や上智で学ぶ交換留学生たちの出身校紹介などのポスターが展示され、通りかかった学生たちが足を止める姿が見られた。

グローバル教育センター担当者は「今年は対面での開催となり、海外への渡航も現実的になった状況下で、昨年度よりも多くの学生が来場した。実際に職員や留学経験者の話を聞くことで、参加したい留学プログラムが見つかったとの声も寄せられ、本学が多様な留学制度について知ってもら

「採択」
TMS 2023 Annual Meeting CHAMPION
I.MATHEWSON賞(受賞日:3月22日)
賞日:3月22日)
齊藤圭(理工学) 専攻機械工学領域
博後2)
電気学会東京支部電気学術奨励賞(受賞日:3月28日)
賞日:3月28日)
柿原良多(理工学) 専攻電気工学領域
学領域博前1)
日本機械学会岡山賞(受賞日:3月28日)
賞日:3月28日)
木本佳秀(理工学) 専攻機械工学領域
博前1)
日本設計工学会武蔵栄

課外活動団体が主催 上智浴衣デー2023 10周年を迎え新たな企画も

7月14日、「上智浴衣デー2023」が四谷キャンパスで開催され、多くの学生が色とりどりの浴衣姿で参加した。主催はイベントの企画や運営を行う課外活動団体nexus(ネクスト)。留学生に日



本の伝統的な文化を体験してもらうことや、学生や教職員などが交流し大学の活性化することを目的に、2013年に大学創立100周年記念企画として始まった。2021年はコロナ禍で中止を余儀なくされたが、昨年に再開。今年10周年を迎え、新たな企画も加わっ

6号館1階には、言語教育研究センターとの共催で短冊に願い事を書く「浴衣の短冊」を設置。さまざまな言語で書かれた短冊が笹を彩った。

日本文化体験では、新たに「祭り体験」を企画。安全に配慮しつつ、射的・ピンポンカップゲ

ラムネ配布などを行った。ホフマン・ホルの和室では、書道と茶の道を実施した。浴衣姿の留学生が書道部員の手本を見ながら葉書に文字を書き書道を体験。完成した葉書は、香港の家族の元に送られるという。

8号館ピロティの写真撮影スポットでは、フラ

ワパーテーションを背景に友人と写真を撮り合う姿が途切れなく見られた。この他、6号館前広場では、管楽器やNew Swing Jazz Orchestraによる演奏も披露された。

上智浴衣デー2023代表の山崎有咲さん(経済3)は、「今年の浴衣デーは10周年という記念のため、昨年よりもパワーアップさせたいという思いがありました。卒業生に協力していただいた横断幕・縁日・ラムネ配布など新しい試みが多く、不安もありましたが、想像以上の方たちに楽しんでいただけてとてもうれしかったです」と話している。

留学フェア2023

留学に向け多くの学生が参加

6月26日から30日にかけて、グローバル教育センター主催の留学フェアが開催された。コロナ禍で制限されていた海外渡航が徐々に回復の兆しをみせるなか、海外留学を希望する学生が期待を寄せながら会場に足を運んだ。

期間中、昼休みの時間に日替わりのセッションを実施。週前半のセッションでは、留学制度説明や、留学準備、留学プログラムを利用した先輩学生の体験談に、参加者は耳を傾けた。後半には、キャリアセンター職員による留学経験者のための就職活動ガイダンスや座談会などが行われ、延べ558人の学生が参加した。

「費用はいくらくらいか」「費用はいろいろ出たか」「語学学習を継続するうえで、どのようにモチベーションを維持するか」などの質問が寄せられ、先輩学生が丁寧に回答していた。実体験に基づいた先輩からの具体的なアドバイスを聞き、参加者にとっては有意義な情報収集の機会となった。

また、6号館1階では多様な留学プログラムの紹介に加え、留学体験談

「採択」
TMS 2023 Annual Meeting CHAMPION
I.MATHEWSON賞(受賞日:3月22日)
賞日:3月22日)
齊藤圭(理工学) 専攻機械工学領域
博後2)
電気学会東京支部電気学術奨励賞(受賞日:3月28日)
賞日:3月28日)
柿原良多(理工学) 専攻電気工学領域
学領域博前1)
日本機械学会岡山賞(受賞日:3月28日)
賞日:3月28日)
木本佳秀(理工学) 専攻機械工学領域
博前1)
日本設計工学会武蔵栄

「採択」
TMS 2023 Annual Meeting CHAMPION
I.MATHEWSON賞(受賞日:3月22日)
賞日:3月22日)
齊藤圭(理工学) 専攻機械工学領域
博後2)
電気学会東京支部電気学術奨励賞(受賞日:3月28日)
賞日:3月28日)
柿原良多(理工学) 専攻電気工学領域
学領域博前1)
日本機械学会岡山賞(受賞日:3月28日)
賞日:3月28日)
木本佳秀(理工学) 専攻機械工学領域
博前1)
日本設計工学会武蔵栄

「採択」
TMS 2023 Annual Meeting CHAMPION
I.MATHEWSON賞(受賞日:3月22日)
賞日:3月22日)
齊藤圭(理工学) 専攻機械工学領域
博後2)
電気学会東京支部電気学術奨励賞(受賞日:3月28日)
賞日:3月28日)
柿原良多(理工学) 専攻電気工学領域
学領域博前1)
日本機械学会岡山賞(受賞日:3月28日)
賞日:3月28日)
木本佳秀(理工学) 専攻機械工学領域
博前1)
日本設計工学会武蔵栄

「採択」
TMS 2023 Annual Meeting CHAMPION
I.MATHEWSON賞(受賞日:3月22日)
賞日:3月22日)
齊藤圭(理工学) 専攻機械工学領域
博後2)
電気学会東京支部電気学術奨励賞(受賞日:3月28日)
賞日:3月28日)
柿原良多(理工学) 専攻電気工学領域
学領域博前1)
日本機械学会岡山賞(受賞日:3月28日)
賞日:3月28日)
木本佳秀(理工学) 専攻機械工学領域
博前1)
日本設計工学会武蔵栄